事務事業調書 No 634		課 名 水道工務課	起 案 者 吉田浩隆
平成23年度		係名 維持係	決 裁 者 石原隆義
事業種別	施設整備	区分継続	業務一覧No 19
			他係名
事務事業名 配水管維持管理事業			他係 業務一覧No

1 事務事業の位置付けと起案事由(事業の必要性)

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり 3 水循環 1 上水給水 1 水の安定供給 2 良質な水の供給				予算科目(会計) 予算科目(款・項・目) 総合計画以外の計画 関連する総合計画の施策						
性質区分	市の内	部事務事	事務事業			法定	受託事務	無			
根拠法令	無					•			•		
実施方法	一部	委託	委託先	民間企	:業						
実施期間	開始	昭和30	 年度	経過	56年目		終了			期間	
公約・議会答弁	無				•					-	
陳情・市民要望	無										

2 事務事業の概要

2 事務争未の作	从女
求める成果	市民が 安定した水の供給を受けられるようになる ~になる
事務事業の内容	常時水道施設の巡回点検に努めている中で、市民からの漏水発生の通報や調査依頼を受けた場合、直ちに急行し現地確認、調査を行い、必要に応じて修繕工事を実施し、水資源の有効利用及び安定供給を図ります。
事務事業 進捗状況	平成16年度修繕箇所985件調查1,168件 平成20年度修繕箇所892件調查962件 平成17年度修繕箇所634件調查1,201件 平成21年度修繕箇所920件調查718件 平成18年度修繕箇所717件調查1,455件 平成22年度修繕箇所656件調查502件 平成19年度修繕箇所732件調查1,038件
改善・対策の履歴	H18から市役所閉庁日の日直を市内の水道業者に委託した
環境配慮の視点	環境目標〇一基本的施策〇一具体的施策〇

3 事務事業の事業費(千円)、人員推移(人)

			平成20年度		平成2	1年度	平成2	平成23年度	
		項目	目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)
	総事業費 f=a+d+e		75, 210	63, 918	76, 754	70, 001	74, 876	68, 058	76, 325
	財源計a		27, 018	15, 726	28, 562	21, 809	26, 684	19, 866	28, 133
	財源 の 内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0	0	0
コスト		市債	0	0	0	0	0	0	0
		その他()	27, 018	15, 726	28, 562	21, 809	26, 684	19, 866	28, 133
		一般財源	0	0	0	0	0	0	0
	受 益 者 負 担 金		0	0	0	0	0	0	0
	職	員人件費d	48, 192	48, 192	48, 192	48, 192	48, 192	48, 192	48, 192
	内訳	従事職員数	6. 40	6. 40	6. 40	6. 40	6. 40	6. 40	6. 40
	人事!	果予算分人件費 e	0	0	0	0	0	0	0

1

4 求	める成	(果を得るため)	の活動	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
		活動名	水道施設点検調査	見込(単位)	1, 038. 00	962. 00	718. 00	502. 00
	活動	(活動内容)		実績b(単位)	962. 00	718. 00	502. 00	
	(1)	指標名(単位)	調査件数(件)	活動の総事業費f 実績	8, 378	8, 350	8, 362	
		111水口 (平区/		単位コストg=f÷b 実績	8. 71	11. 63	16. 66	
		活動名 (活動内容) 指標名(単位)	漏水の修繕	見込(単位)	732. 00	892. 00	920. 00	656. 00
活動	活動 ②			実績b(単位)	892. 00	920. 00	656. 00	
/0 5//	2		修繕件数(件)	活動の総事業費f 実績	55, 540	61, 651	59, 696	
				単位コストg=f÷b 実績	62. 26	67. 01	91.00	
		活動名		見込(単位)				
	活動	(活動内容)		実績b(単位)				
	③	指標名(単位)		活動の総事業費f 実績				
		拍標 名 (甲型)		単位コストg=f÷b 実績				

5(1) 成果の目標と実績

		指標名·指標式	年度		平成20年度	平成2	1年度	平成22年度	平成23年度	
		有効水率(%)=漏水等損労	見込(単	位)	97. 42		97. 42	97. 42	97. 42	
		量を除き有効に利用した配水量÷年間総配水量(%)		実績(単	位)	99. 21		97. 96	97. 76	
				達成状	況	達成	達	成	達成	
成果		目標成果指標値		0. 00		目標達成年度				
<i>7</i> 2.7		指標名•指標式	(単位)	年度		平成20年度	平成2	1年度	平成22年度	平成23年度
				見込(単	位)					
	成果			実績(単	位)					
				達成状	況					
		目標成果指標値	·	·		目標達成年度				

5(2) 成果1、2以外の成果

市民の意見、利害関係者の声などをプラス・マイナス両面からコスト、成果に分けて具体的に記入

昼夜を問わず漏水発生現場に出向く体制をとって、漏水時間と断水時間の軽減に努めた。

成果

6 単位コストと成果の分析

	項目	どのような内部の取り組みや外部要因が影響を与えたのか、プラス・マイナスの両面からコスト、成果に分けて具体的に記入
		漏水の通報があれば、現場へ急行し現状を確認したうえで、必要な資材を手配し修繕を行った。
分析	単位 コスト	
		漏水事故等に迅速に調査、修繕対応したことで水道水の安定供給に資することができた。
	成果 1, 2	

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案、市民にわかりやすく説明する

漏水等異常が多く発生する水道管経路は、本管の布設替えも視野に入れて検討します。

改善

8 方向性

方向性	必要性、効率性、有効性を踏まえ、今後どのように事業を進めるか、方向性を選択し、内容を市民に説明します
	水道水は必要不可欠なものであり、適切な維持管理を行うことで、安心安全な水が供給できます。
維持・継続	